

A: たいへんよい B: よい C: 一部検討を要する D: 改善を要する

項目	内 容	評価	取組状況及び課題
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が周知されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玄関に基本理念が大きく掲げてあり、職員全員が理念や基本方針をしっかりと理解したうえで各クラス担任がクラス懇談会で保護者に基本理念に基づいた教育保育がいかになされているかわかりやすく説明している。 ・ 保護者へのアンケート結果からも保護者に周知できていることがうかがえた。
	(2) 理念や基本方針に基づいた教育保育がなされているか	B	
	(3) 一人一人の子どもの人権を尊重した教育・保育について共通理解を持っているか	B	
教育・保育の計画	(1) 社会状況の変化やこれまでの課題を踏まえて教育課程の見直しを行っているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の以上児会、未満児会で担任がそれぞれの教育課程や指導計画について見直しをした。 ・ 教育保育の進め方を話し合った後、園内研修で報告し、職員全員で話し合い共通理解をはかっている。 ・ 子ども達の生活や遊びの姿をとらえて、月案・週案を考案しているが、明日への保育に日々繋がられているかといわれると課題が残る。 ・ 保育を振り返る時間の確保が課題である。
	(2) 指導計画は、その年齢に応じた体験が展開できるように配慮し作成しているか	B	
	(3) 子どもの興味・関心や意欲に合わせて活動が展開できるように職員間で保育を振り返り、月・週の目標、日々の保育のねらいを設定しているか	B	
	(4) 子ども達の園生活の中で「10の姿」を参考に子どもにどんな資質・能力が育っているかを知り、日々の保育の評価をしているか	B	
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間で共有しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の園内研修で各担任がクラスの様子や気になる子どもの姿を報告し、全職員で共有している。支援を必要とする子や気になる子に対してはどのように関わっていけばいいのか相談し合っている。 ・ 子どもの遊ぶ姿をビデオ撮影した後に全職員で見て、一人一人の姿から見えてくる子どもの思いについて話し合っている。職員それぞれに見方や考えがあることをビデオトークを通して気づき、子ども理解を深めている。 ・ 支援を必要とする子どもに対して全職員で共通理解をして、園全体で丁寧に関わったり、関係機関と連携してアドバイスを受けたりしている。 ・ 毎月、給食会議を実施し、子どもたちが楽しく意欲的に食べられる献立や環境作りを考えている。 ・ 子ども達が主体性を発揮して活動できるように配慮し、子ども達の自己肯定感を高められるような言葉掛けができるようにしていきたい。
	(2) 子ども一人一人を心から大切に思っていて関わっているか	A	
	(3) 職員間で子ども理解に努め、一人一人に応じた働きかけや援助を行っているか	B	
	(4) 子どもの主体性を生かすよう物的・人的な環境構成の工夫を行っているか	B	
	(5) 子ども自らが判断できるような場面を意図的に持つことができたか	B	
	(6) 子どもの立場に立って物事を見たり考えたりし、子どもの言動等から内面を丁寧に受け止めているか	B	
	(7) 保育者主導の保育にならないよう、必要最小限の支援・援助としているか	B	
	(8) 子どもを指導する場面では、感情的にならず、心を落ち着かせて行えたか	B	
	(9) 子どもの年齢に応じた発達の特徴を把握し、活動を展開できたか	B	
	(10) 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるように配慮しているか	A	
(11) 支援を要する子どもに対して、個別の指導計画をもとに見通しをもって支援・援助することができたか	B		

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	内 容	評価	取組状況及び課題
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育課程などについて、保護者との共通の理解を得るために懇談会などの話し合いの場を設けたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育参観で子ども達の様子を見てもらい、懇談会で日頃の悩みを担任や保護者同士で話し合ったり、子育てについて情報交換したりした。 ・ 悩み事や相談等の内容によっては個別の対応をした。保護者の気持ちに寄り添い、丁寧に関わっている。保護者にもそれは伝わっていて連絡帳や口頭でも感謝の言葉をいただいている。 ・ 保護者の育児不安や悩みに専門性を活かしたアドバイスをし、問題の解決を図っている。 ・ 子ども達の様子や言動から少しの変化に気づき、市の相談員や児相等の関係機関と必要に応じて相談し、アドバイス等を受けるようにしている。また発育や登園状況など情報共有を行っている。
	(2) 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけているか	B	
	(3) 保護者からの相談や意見等について誠実に対応し、保育実践に反映できるものは保育の充実に生かすことができたか	B	
	(4) 園は虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所などの専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	A	
教育保育を支える組織的基礎	(1) 施設長はリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の内容と充実が図れるよう努めているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週1回の遊具安全点検、毎月の避難訓練、年1回の消防士立ち合いの避難訓練、また警察と協力し不審者対応訓練を行い、消防士や警察の指導、助言を受けている。 ・ 看護師の専門性を活かして、細やかな指導を受け、職員間と保護者が連携しながら感染症予防を行っている。また園児の発熱時など体調不良時には保護者のお迎えを待つ間、看護師が看護室で保育を行っている。 ・ 定期的に自己評価を行い、職員自身の教育・保育を見直すように努め、園全体での課題や見直しなども改善しながら、実施していくように努めている。 ・ 守秘義務や個人情報の保護に関しては、日々職員へ遵守を呼びかけ、共通理解を図っている。個人情報を含む書類においては、適正に管理している。 ・ 月1回の以上児会、未満児会で保育の振り返りや行事のこと、また、それぞれの保育観や思いなどについて話し合い、そこで出た課題を委員会や園内研修で取り上げて話し合っている。
	(2) クラスの運営は仕事分担が適切にされ、協働して保育がなされているか	B	
	(3) 日々の保育のねらいを職員間で共有し、保育実践を行っているか	B	
	(4) 自己の不安や悩みについて相談することができたか	B	
	(5) 職種が異なってもそれぞれの特性を尊重し支え合うことに努めているか	A	
	(6) 保護者や子どもの個人情報は漏洩等がないよう適切に管理しているか	A	
	(7) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	A	
	(8) 健康管理(体調不良、アレルギー疾患等)について看護師と子どもの情報を共有し、適切な対応がとれるようにしているか	A	
	(9) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止等子どもの安全確保のため職員としての緊急時の行動を身に付けるよう努めているか	B	
	(10) 会議等での結論が自分の意見と違う時も相手の意見を受け止め、協力しているか	B	
	(11) 職員間で子どものことや今日の保育・明日の保育のことを気軽に語り合っているか	B	
	(12) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか	B	